





平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 福岡県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	大野城市立御笠の森小学校 全校児童 398名 ※実技指導は4年生59名のみ
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 体育科 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○オリンピックと接することやオリンピックの指導によるスポーツ教室を通じ、「動いて、考えて、また動く」よさについて気づく機会とするとともに、体育・スポーツのよさを感じとること。</p> <p>○体育・スポーツの基本である「走り方」について学ぶこと。</p>
5 取組内容	<p>□体育科「走・跳の運動遊び～陸上運動」</p> <p>「動いて、考えて、また動く」走り方教室</p> <p>○わたしたちの走り方を見てもらおう「さわやかタイム」</p> <p>・児童の走る様子へのオリンピックのアドバイス</p>   <p>○講話「動いて、考えて、また動く」</p> <p>・話を聞いたり、体を動かしたりして「走り方」について学ぶ。</p> <p>1) 二足歩行の「人」が走るということ</p> <p>2) 「動いて、考えて、また動く」</p> <p>3) 「くし4 (くれよん)」と「4・1ラン」</p> <p>とは</p> <p>4) 実際に動いてみよう</p>  

	<p>○実技指導「動いて、考えて、また動く」走り方教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックの指導による走り方教室</li> <li>1)ウォーミングアップ</li> <li>2)「4・1ラン」を学ぼう</li> <li>3)ステップを学ぼう。</li> <li>4)スタートを学ぼう</li> <li>5)スタート～4歩～8歩～ゴールまでの走り方</li> </ul>  <p>○走り方教室をふり振り返り、学習したことをまとめよう。</p>
6主な成果	<p>○「走り方」だけでなく、体育科学習に生かすことのできる「動いて、考えて、また動く」考え方について学ぶことができた。</p> <p>○子供たちの「より速く走りたい」という願いに応じたオリンピックによる講話であり実技指導であることから、体育・スポーツの基本である走り方について積極的に学ぶことができた。</p>
7実践において工夫した点（事業の特色）	<p>○オリンピックであり、第4学年国語科説明文「動いて、考えて、また動く」の筆者である講師を招へいしたことから、子供たちが学習前から意欲や期待を高め臨むことができるようにしたこと。</p> <p>○第1～6学年を対象とした「簡単な実技を取り入れた講話」を取り入れ、全校児童がこの機会を享受できるようにしたこと。</p> <p>○実技指導は人数に限りがあることから、本年度国語科で「動いて、考えて、また動く」を学習した第4学年児童が指導を受けるようにしたこと。</p>
8主な課題等	<p>○発達段階に応じた専門的な指導スキルを有する指導者から、実技指導を受けることのできる持続可能な機会の創出。</p> <p>○オリンピック又はトップアスリートとの出会いや実技指導を受けるための「人・もの・こと」に係るコーディネート及び準備。特に、コーディネーターが必要であること。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>○走り方教室で受けた指導を継承し、発達段階に応じた走り方のスキルを高める指導を、朝のジョギングや体育科学習の中で実施することで本事業の成果を反映することとしている。</p>